

心理コースとは

こころのケアから、ビジネス心理まで

心理学とは人の心を科学的に探究する学問のひとつです。心理専門職をめざす人も民間企業をめざす人も、心理学は仕事に役立ちます。本学科では学校や病院、会社など、いろいろな場面で活用できる心理学を学びます。心理カウンセリングやストレス・マネジメントなど、心のケアはもちろんのこと、産業心理学などビジネスシーンで役立つ知識が学べます。また、国家資格の公認心理師資格取得のためのカリキュラムにも対応しています。

教育内容・特色

豊富な現場体験で国家資格「公認心理師」をめざす

2017年に「公認心理師法」が制定され、心理学領域の国家資格「公認心理師」が誕生しました。本学の心理コースは、公認心理師の資格取得に対応した学部カリキュラムを設置しています。対人援助職には、人と関わる力が求められ、資格取得のために実習などの現場体験が必須です。そこで、本学では心理専門職が仕事をしている多様な現場を、2年生から実習として体験できます。もちろん、受験資格取得に必要な心理実習でも、適応指導教室や医療機関などの心のケアに関する臨床現場で学びます。社会福祉士資格も取得すると、さまざまな場所で力を発揮することができます。

心理専門家への道をサポート

心理専門職になる近道は、公認心理師や臨床心理士を取得することといえます。これらの受験資格を得るための大学院受験に関する情報提供や授業外の指導などが充実しています。また、公認心理師は一定の条件を満たす実務経験でも受験資格を得ることができますが、多くの場合、心理専門職に関わる公務員試験を突破する必要があります。本学科では、このような公務員志望の学生への指導も積極的に行っています。

心理学検定に合格して心理学の知識をアピール

日本心理学諸学会連合が認定している心理学検定合格をめざして、学生が自主勉強会に取り組んでいます。心理学検定の合格実績は、心理学の知識を身につけていると積極的にアピールできます。毎年、1級、2級に多数合格しています。最上位となる特1級も毎年合格者が出ています。心理学検定は心理専門職に就こうとする学生以外にとっても意味のある検定資格といえます。そのような合格実績を持つ自主勉強会での努力が実るよう、心理コースの教員が相談に乗るなどサポートしています。